SCREEN

2020年3月期 第1四半期決算説明会

2019年7月29日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者（CEO）

廣江 敏朗

資料取り扱い上の注意

- 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- 本資料では、例えば、「FY2020」と示す場合、2019年4月1日～2020年3月31日の会計期間を表します。

アジェンダ

FY2020 1Q 連結業績

FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み

SCREEN

2020年3月期 第1四半期のサマリー

- ✔ 1Q実績は前年同期比減収減益で、営業損失計上
- ✔ SPEの収益性改善は進行中。通期ベースも想定どおり進捗予定
- ✔ 1Q受注　SPE：想定を上回る600億円
  FT：想定を上回る141億円

FY2020 1Q 連結業績

FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み

SCREEN

FY2020 1Q 連結業績（前年同期比）

（億円）	FY2019 1Q	FY2019 2Q	FY2019 3Q	FY2019 4Q	FY2019 通期	FY2020 1Q	前年同期比	
売上高	725	975	823	1,118	3,642	582	▲143	▲19.7%
営業利益	51	100	36	107	296	▲44	▲95	—
営業利益率	7.0%	10.3%	4.5%	9.6%	8.1%	▲7.6%	—	▲14.6pt
経常利益	51	101	33	106	292	▲42	▲93	—
親会社株主に帰属する当期純利益	35	60	5	79	180	▲29	▲64	—

●1Q 業績(前年同期比)　グループ連結

全事業での四半期の赤字は、2013年3月期3Q以来(7期振り)です

SCREEN

FY2020 1Q 連結業績（前年同期比）

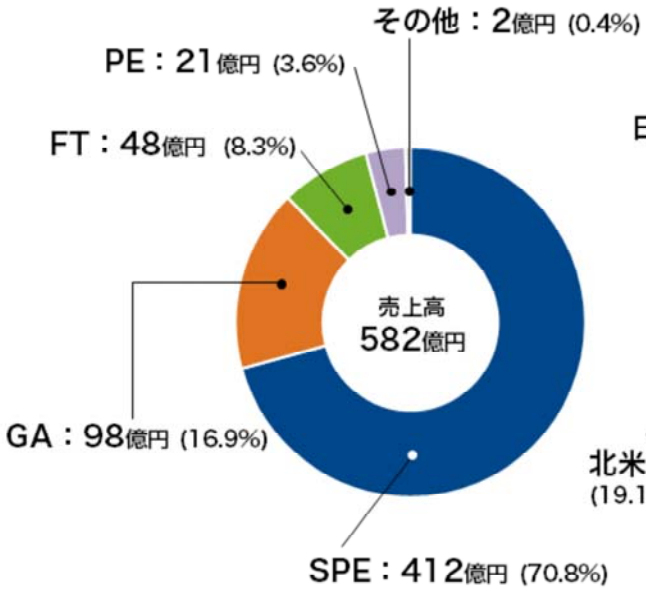
（億円）	FY2019 1Q	FY2019 2Q	FY2019 3Q	FY2019 4Q	FY2019 通期	FY2020 1Q	前年同期比	
売上高	725	975	823	1,118	3,642	582	▲143	▲19.7%
SPE	471	657	582	813	2,525	412	▲59	▲12.6%
GA	114	124	115	128	482	98	▲16	▲14.3%
FT	103	150	100	137	492	48	▲55	▲53.6%
PE	32	39	20	31	123	21	▲11	▲34.7%
その他および調整	2	4	4	6	19	2	▲0	▲8.8%
営業利益 営業利益率	51 7.0%	100 10.3%	36 4.5%	107 9.6%	296 8.1%	▲44 ▲7.6%	▲95	– ▲14.6pt
SPE	37	78	49	93	258	▲0	▲37	–
GA	2	2	2	4	11	▲2	▲4	–
FT	9	19	▲5	14	37	▲35	▲44	–
PE	5	5	▲0	▲2	7	▲0	▲5	–
その他および調整	▲3	▲4	▲8	▲2	▲18	▲5	▲2	–
経常利益	51	101	33	106	292	▲42	▲93	–
親会社株主に帰属する当期純利益	35	60	5	79	180	▲29	▲64	–

SPE：半導体製造装置事業
GA：グラフィックアーツ機器事業
FT：ディスプレー製造装置および成膜装置事業
PE：プリント基板関連機器事業

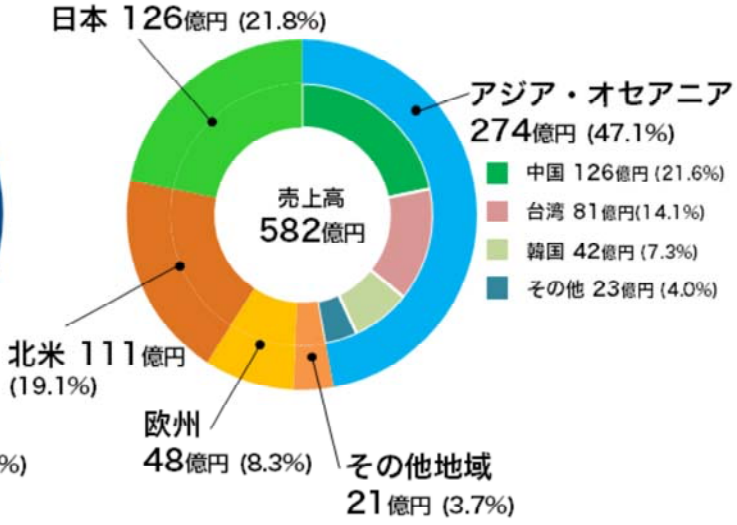
SCREEN

FY2020 1Q 連結業績

■セグメント別売上高

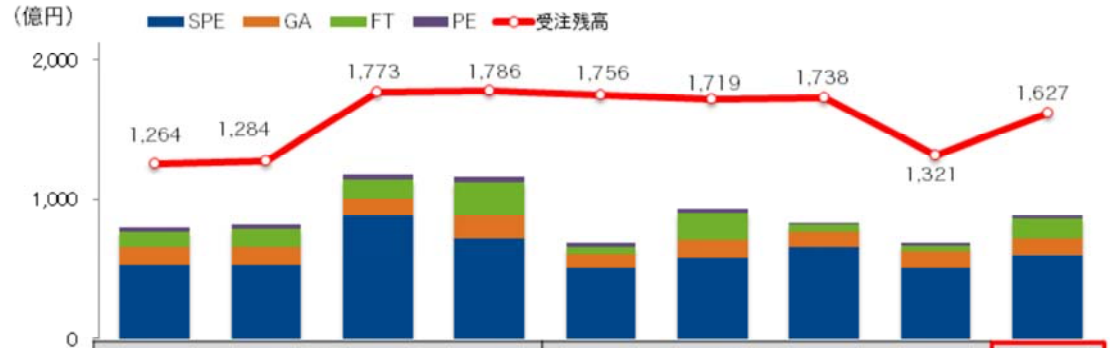


■地域別売上高



●業績別では、グループ連結売上のほぼ70%をSPEが占めています
地域別では、アジア・オセアニア地域が50%弱を占めています

連結受注高/受注残高の四半期推移



（億円）	FY2018				FY2019				FY2020
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
受注高	806	825	1,187	1,161	692	934	837	694	885
SPE	529	532	883	725	506	580	663	513	600
GA	131	129	122	153	109	134	111	118	117
FT	110	133	143	246	46	192	46	36	141
PE	35	30	37	36	30	26	15	25	25
受注残高	1,264	1,284	1,773	1,786	1,756	1,719	1,738	1,321	1,627
SPE	767	767	1,196	1,103	1,138	1,061	1,143	843	1,031
GA	71	61	65	50	45	56	53	43	62
FT	398	432	484	597	540	582	528	427	521
PE	27	23	26	33	31	18	13	7	12

FY2020 1Q 連結業績

FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み

セグメント別業績概況＜SPE＞

今後の主な取り組みや状況（市場見通しなど）

- **SPE市場：CY2019のWFEの見方には大きな変化なし**
  CY2018比▲15～20%程度、＄40bn半ばを見込む
  →中長期の成長の見方も変化なし
- **メモリー：投資回復のタイミングが遅れ気味。本格的な回復は**
  CY2020にずれ込む可能性あり
  →引き続き動向を注視し、投資再開に備える
- **ファウンドリー：微細化投資が順調に進捗、投資拡大時期の前倒し期待**
  →最先端プロセスへの対応強化、タイムリーな装置納入を目指す
- **ロジック：量産・微細化投資が堅調に進捗**
  →既存ノードの量産追加投資、最先端ノードへの移行プロセスへの
  サポート強化
- **IoT関連：多岐に渡る適応エリア**
  →CMOSセンサーをはじめとするセンサー関連、パワー半導体の投資が
  活発。MEMSも順調
- **中国半導体市場：設備投資の回復、高まり**
  →米中貿易摩擦の状況を注視しつつ、旺盛なローカルメモリーメーカーの
  2次投資、既存ファウンドリーメーカーの微細化等の投資を確実に受注

セグメント別業績概況 ＜SPE＞

前年同期比

（億円）	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	471	412	▲59	▲12.6%
営業利益 営業利益率	37 8.0%	▲0 ▲0.1%	▲37 ▲8.1pt	―

前四半期比

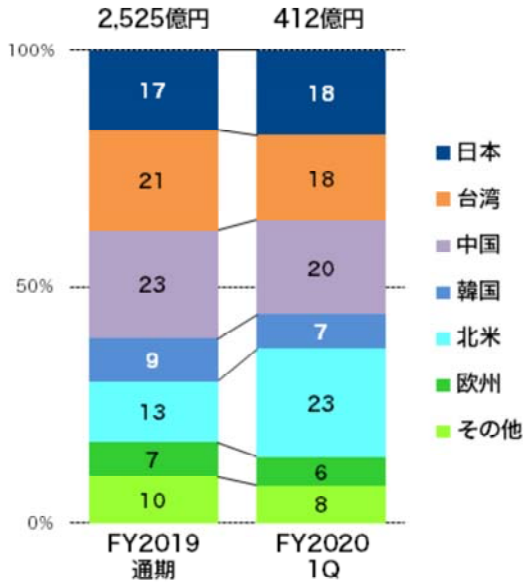
（億円）	FY2019 4Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	813	412	▲401	▲49.4%
営業利益 営業利益率	93 11.5%	▲0 ▲0.1%	▲93 ▲11.5pt	―

概況

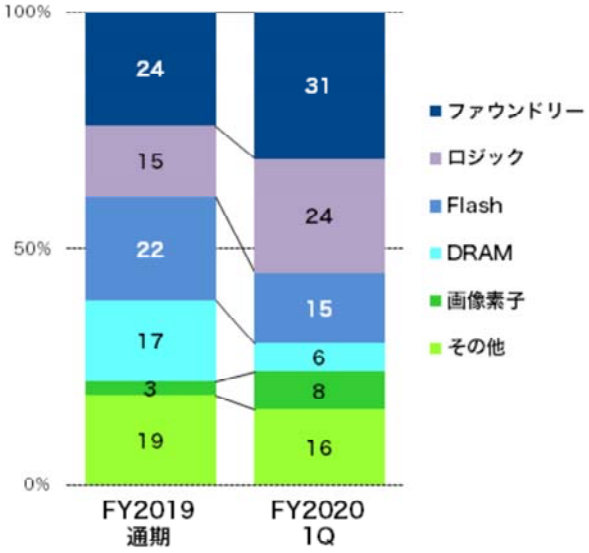
・前年同期比、ファウンドリーとロジックは増加、IoTデバイス対応装置は堅調に推移したもののメモリー向けの売上は減少
・営業利益：売上の大幅な減少や変動費率の上昇などにより営業損失となったが前期後半からの収益性改善活動により、今後改善が進む（1Qの営業損失は一過性）

連結・地域別売上高比率
／単独・アプリケーション（デバイス）別売上高比率

■地域別（仕向地ベース）

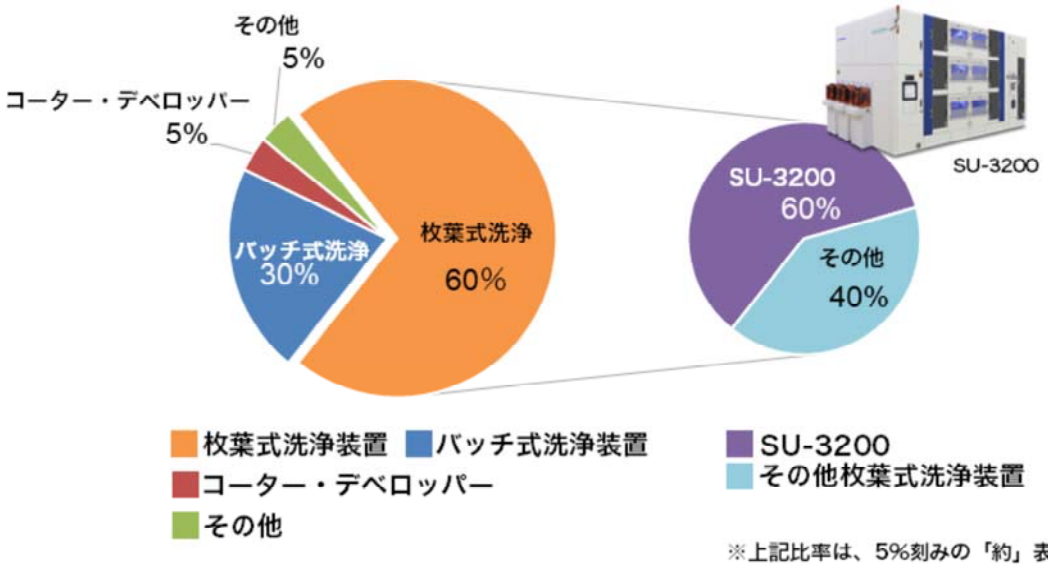


■アプリケーション(デバイス)別



単独・売上高比率

■洗浄装置 製品別売上高比率（FY2020 1Q）



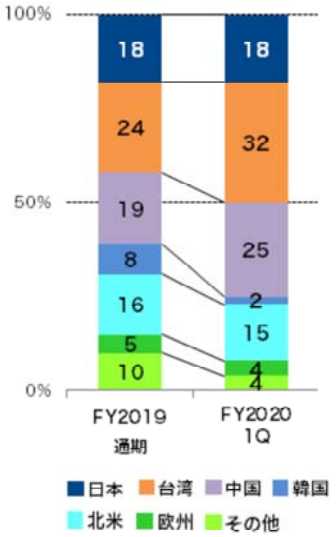
■枚葉式洗浄装置 ■バッチ式洗浄装置
■コーター・デベロッパー
■その他

■SU-3200
■その他枚葉式洗浄装置

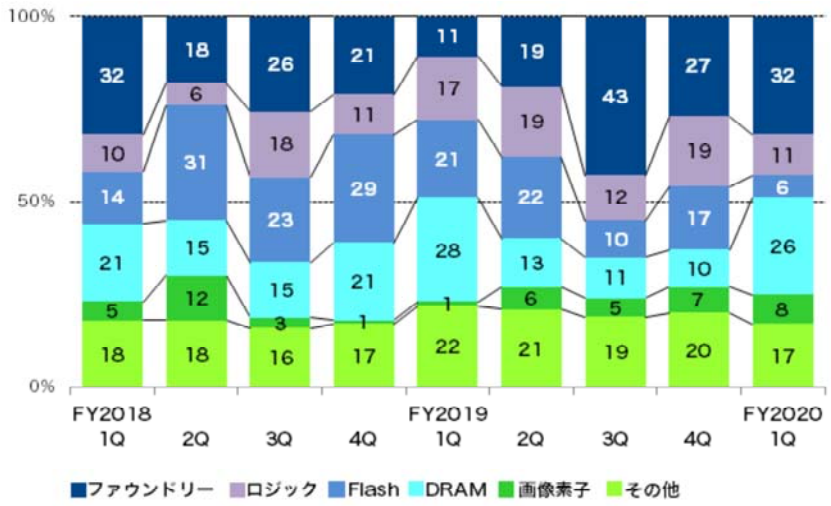
※上記比率は、5%刻みの「約」表記

単独・受注高比率

■地域別



■アプリケーション（デバイス）別・四半期推移



・ファウンドリーは好調、メモリーは微増(DRAMは大幅増、NANDは大幅減)
・1Qは想定を上回り、600億円(連結)を受注
・2Qの受注(連結)は1Qとほぼ同水準を見込む

SCREEN

セグメント別業績概況 <GA>

前年同期比

（億円）	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	114	98	▲16	▲14.3%
営業利益 営業利益率	2 2.0%	▲2 ▲2.3%	▲4 ▲4.3pt	－

前四半期比

（億円）	FY2019 4Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	128	98	▲29	▲23.4%
営業利益 営業利益率	4 3.8%	▲2 ▲2.3%	▲7 ▲6.1pt	－

概況

・前年同期比、減収減益
・CTP、PODの販売が減少
・インクを中心とするポストセールスの売上比率は順調に増加

●2Qでの業績回復を見込んでいます

SCREEN

セグメント別業績概況 <FT>

前年同期比

(億円)	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	103	48	▲55	▲53.6%
営業利益 営業利益率	9 8.7%	▲35 ▲74.0%	▲44 ▲82.7pt	―

前四半期比

(億円)	FY2019 4Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	137	48	▲89	▲65.1%
営業利益 営業利益率	14 10.4%	▲35 ▲74.0%	▲49 ▲84.4pt	―

概況

- 前年同期比、減収減益。変動費率の上昇により、大幅に減益
- 1Qの受注(連結)は141億円、OLED中心に前四半期比で伸長
- 2Qの受注(連結)も100億円超えを見込む

SCREEN

セグメント別業績概況 <PE>

前年同期比

（億円）	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	32	21	▲11	▲34.7%
営業利益 営業利益率	5 16.3%	▲0 ▲2.3%	▲5 ▲18.6pt	—

前四半期比

（億円）	FY2019 4Q	FY2020 1Q	増減	
売上高	31	21	▲10	▲32.3%
営業利益 営業利益率	▲2 ▲6.4%	▲0 ▲2.3%	1 4.1pt	—

概況

・前年同期比、減収減益
・スマホ関連投資の停滞が続き、底堅い車載向けでも補完できず

●下期は、5G投資の引き合いもあり、業績回復を見込んでいます

FY2020 1Q 連結業績

FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

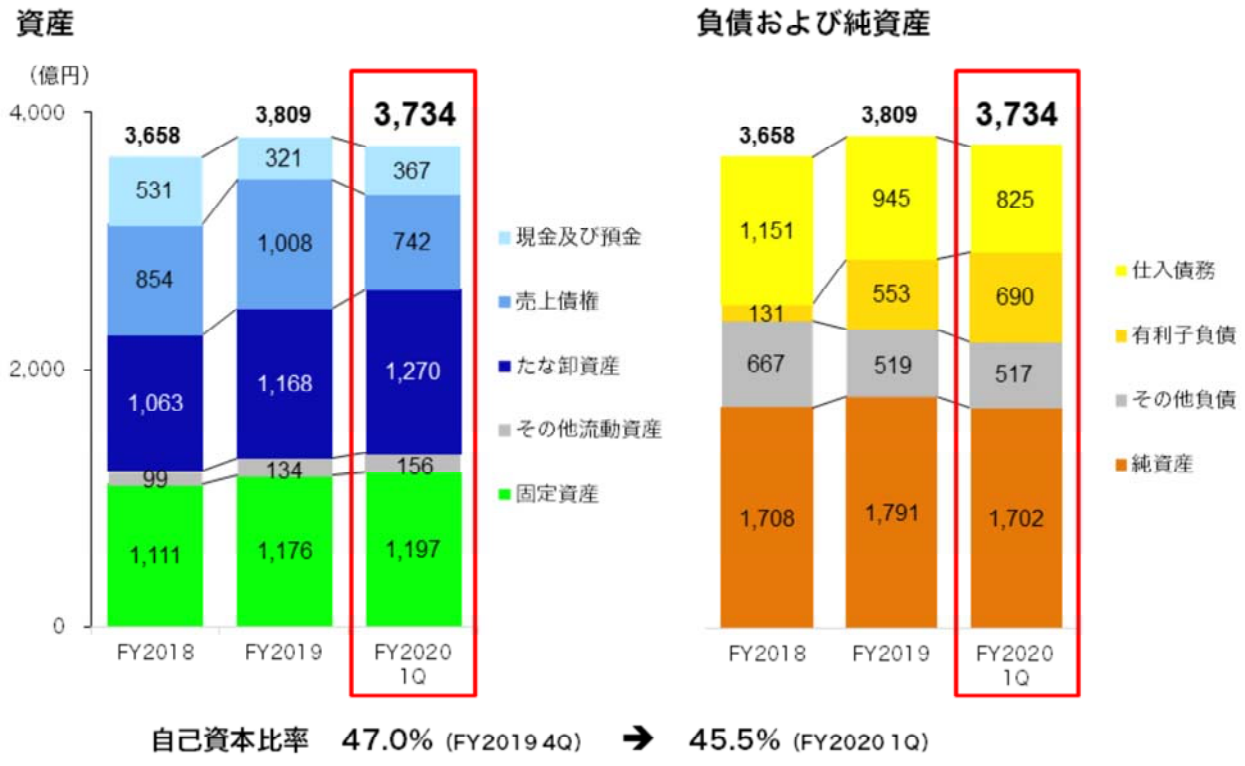
FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み

SCREEN

財務状況：連結貸借対照表



自己資本比率　47.0%（FY2019 4Q）　➔　45.5%（FY2020 1Q）

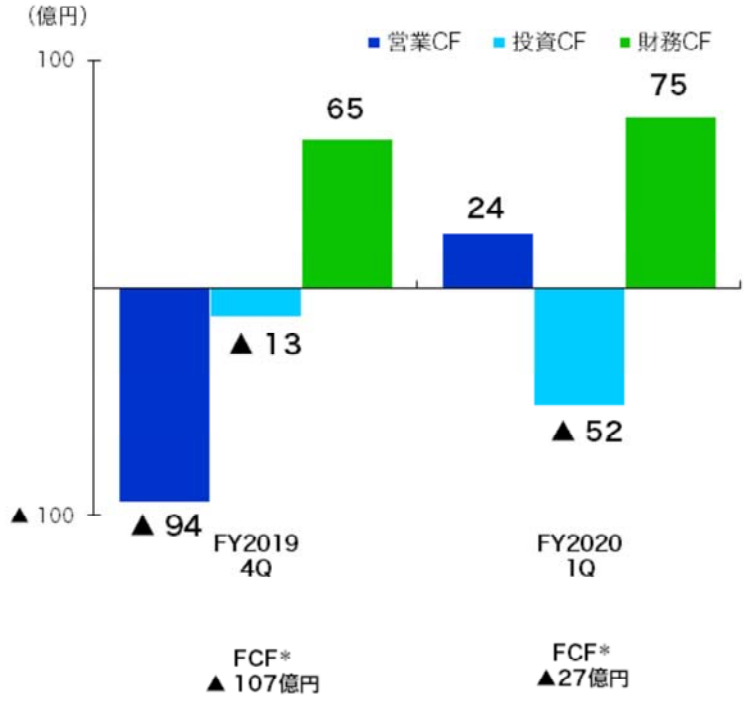
※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を連結会計年度FY2019の期首から適用しており、連結会計年度FY2018の実績については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しています

●総資産は、3,734億円となり、前期末(3,809億円)比で74億円減少(▲2.0%）しました

●資産の部
たな卸資産や現金及び預金が増加した一方で、売上債権が減少したことなどにより、3,734億円となりました。前期末比 74億円減少（▲2.0%）しました

●負債および純資産の部
・負債は、仕入債務が減少した一方で、短期借入金の増加などにより、2,032億円となりました。前期末比 15億円増加（+0.7%）しました
・純資産は、配当金の支払い(45億円)、親会社株主に帰属する当期純損失(29億円)を計上したことなどにより、1,702億円となりました。前期末比 89億円減少（▲5.0%）しました

連結キャッシュ・フロー



営業CF

売上債権の減少や、その他流動負債の増加などの収入項目が、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払いなどの支出項目を上回り、24億円の収入

投資CF

研究開発設備等の有形固定資産取得などにより、52億円の支出

財務CF

配当金の支払いの一方で、短期借入金による調達を行い、75億円の収入

＊FCF：フリーキャッシュ・フロー

FY2020 1Q 連結業績

FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み

SCREEN

FY2020 業績予想

*セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記

（億円）	FY2019 通期実績	FY2020（予想） 上期 5月発表	上期 7月発表	下期 5月発表	下期 7月発表	通期 5月発表	通期 7月発表
売上高	**3,642**	**1,470**	**1,450**	**1,800**	**1,790**	**3,270**	**3,240**
SPE	2,525	1,000	1,050	1,200	1,140	2,200	2,190
GA	482	240	215	250	240	490	455
FT	492	165	130	265	330	430	460
PE	123	55	45	65	65	120	110
その他	19	10	10	20	15	30	25
営業利益 営業利益率	**296** **8.1%**	**40** **2.7%**	**0** **0.0%**	**225** **12.5%**	**250** **14.0%**	**265** **8.1%**	**250** **7.7%**
SPE	258	*40**	*45**	*180**	*175**	*220**	*220**
GA	11	*15**	*5**	*25**	*25**	*40**	*30**
FT	37	*0**	*▲30**	*35**	*60**	*35**	*30**
PE	7	*0**	*▲5**	*5**	*5**	*5**	*0**
その他	▲18	*▲15**	*▲15**	*▲20**	*▲15**	*▲35**	*▲30**
経常利益	**292**	**30**	**▲5**	**210**	**230**	**240**	**225**
親会社株主に帰属する当期純利益	**180**	**25**	**▲5**	**155**	**175**	**180**	**170**

注）FY2020想定為替レート>> 1USドル＝105円、1ユーロ＝120円　　期末配当予想>> 97円
想定為替感応度（営業利益ベース）>> 対USドル：1.1億円、対ユーロ：0.4億円

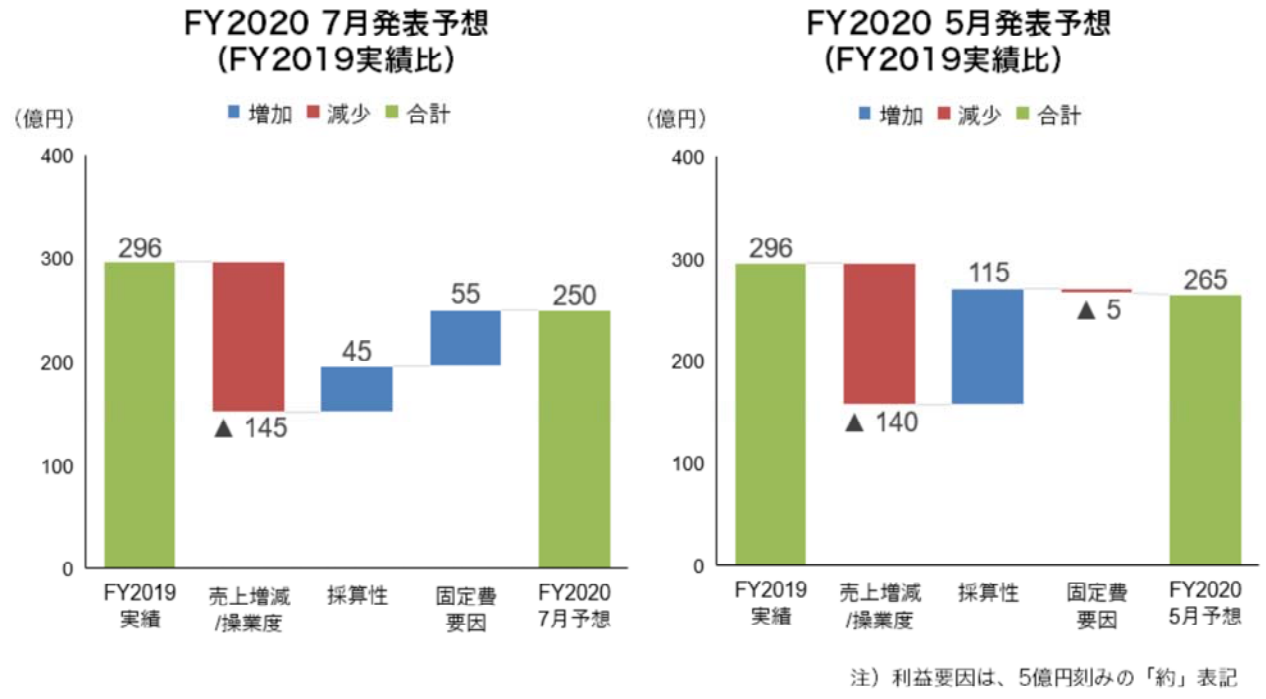
●今期の業績見通しを修正しました
・GAにおいて、世界景気の先行き不透明感から、装置販売が減少する見込みであり、利益面では、売上減少に加え、為替が円高傾向にあることから、5月予想を下回る見込みとなりました
・また、FTでは、1Qにおける採算性(変動費率上昇＋引き当てなど)の影響が大きく、5月予想比で売上は増えるものの、営業利益が減少する見込みです
・なお、主力のSPEにおいては、若干の遅れはありながらも、計画から大きく乖離することなく、収益改善を進めています

→各事業、固定費抑制などのコスト削減などを進めながら、持続的な成長を目指します

●当期（2020/3月）の配当予想は、据え置き、1株当たり97円を予想しています

SCREEN

営業利益増減分析（FY2020 通期）



注）利益要因は、5億円刻みの「約」表記

●FY2020・全社通期の営業利益分析（対前期）

・FY2020・7月予想（左側）は、FY2019比では、減収影響／操業度による減益が145億円ですが、採算性の改善により45億円、固定費削減により55億円程度の利益改善を見込んでいます

なお、SPEの収益改善は、概ね順調に進捗しています。採算性の改善度合が下がって見えるのは、主にFTとGAの部分。今回、下期予想を精査した上で、固定費の削減など、着実に収益改善できるよう、早目に手立てを打ちました

FY2020 1Q 連結業績

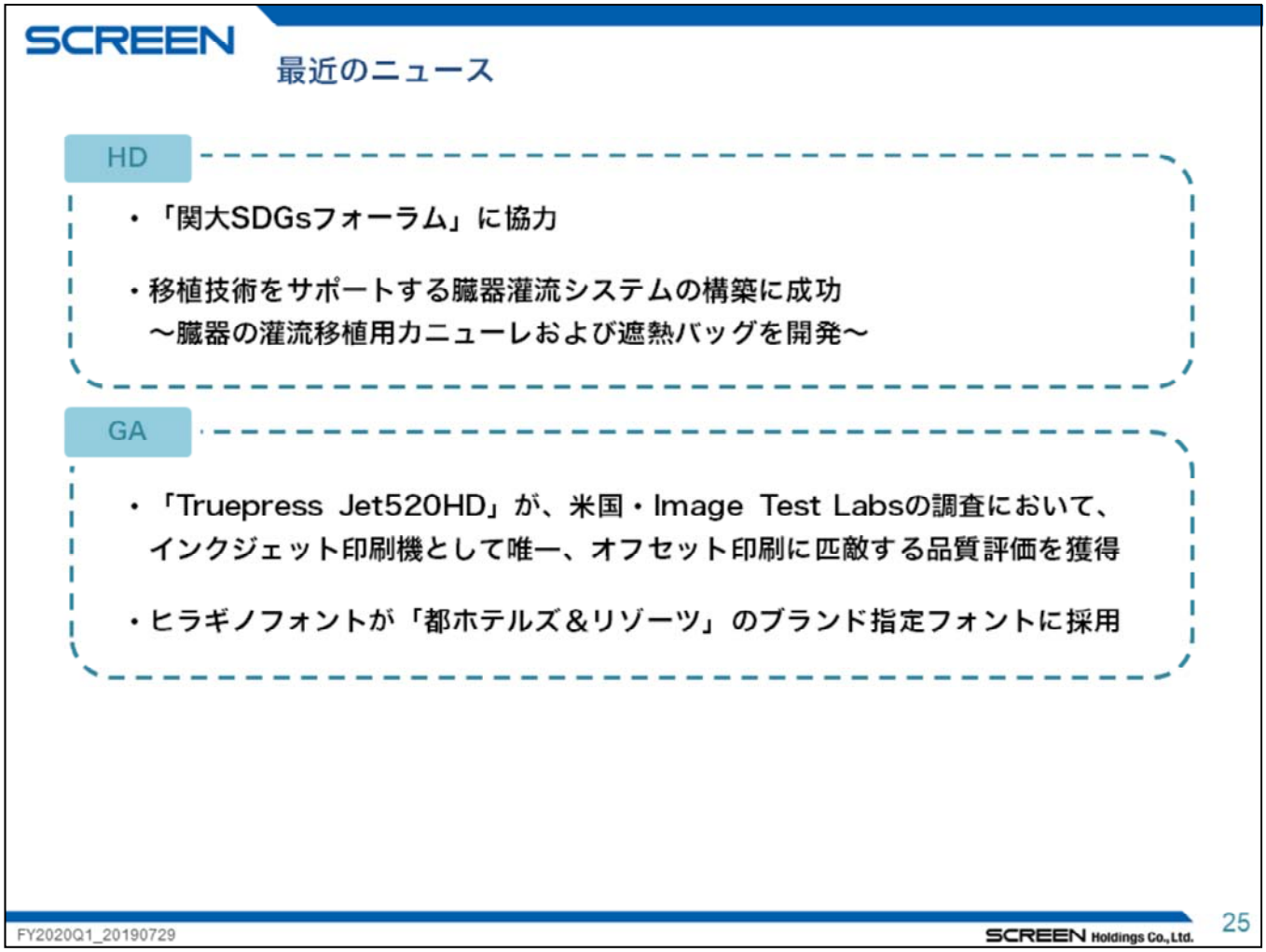
FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み



詳細は、当社Webサイト上の「グループニュース」を参照願います

＊「グループニュース」： https://www.screen.co.jp/news/2019

FY2020 1Q 連結業績

FY2020 1Q セグメント別業績概況

財務状況

FY2020 業績予想

最近のニュース

ESG関連の取り組み

ESG関連の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

当社グループは、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」を当社の企業理念にも通ずる目標だと捉えています。そのため、17のゴールのうち特に以下の6つの重点課題に積極的に取り組み、全人類が平和で豊かに暮らせる社会を目指し、地球規模で持続的に成長することに貢献します。

>>6つの重点課題

ESG系インデックス銘柄に選定

→当社は、FTSE4Good Index Series（2004年から）、および、FTSE Blossom Japan Index（2017年から）、SNAMサステナビリティ・インデックス（2018年から）の構成銘柄です

FTSE4Good

FTSE Blossom Japan

Member of SNAM Sustainability Index 2019

SCREEN

■ご参考>>　主要数値の変遷

（億円）	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020 (予想)
売上高	2,376	2,596	3,002	3,393	3,642	3,240
営業利益	171	235	337	427	296	250
営業利益率(%)	7.2	9.1	11.2	12.6	8.1	7.7
総資産	2,495	2,700	3,006	3,658	3,809	—
自己資本	1,108	1,196	1,428	1,708	1,791	—
自己資本比率(%)	44.4	44.3	47.5	46.7	47.0	—
ROE(%)	12.3	16.3	18.4	18.2	10.3	—
減価償却費	48	50	53	57	68	100
設備投資額	66	63	82	144	240	110
研究開発費	139	151	177	208	228	220
EPS(円)	255.35	396.75	511.96	608.62	387.10	364.33

SCREEN